

## 中島ポリエチレン工業株式会社様（千葉県白井市白井工業団地内）



### 1.会社概要

中島ポリエチレン工業（株）白井事業所は、従業員15名の中小企業で、プラスチック製品の製造を行う企業です。自動車部品から医療製品まで、かなりレベルの高いプラスチック成形製品を製造しています。射出成形機は、3種類のメーカーのものを10台以上設置しています。

### 2.課題

- 品質及び生産性向上
- 技術伝承
- 社員個々のスキルアップ

社員の人材育成を思い立った理由は、高度な技術を有した熟練社員の高齢化に伴い、このままだと現状の現場改善できる高いレベルの現場力が継承されるのだろうかという不安がありました。これからも継続して顧客の信頼に応えていくためには、工場の人材力のスキルアップを図らなければならないという切実な課題解決に迫られていました。これまでは、工場長を中心にOJTで現場の技能・技術を継承しようと努力していましたが、日常的なOJTに限界を感じ、まずは、OJTが可能となる基盤技術の習得が第一と気づきました。今のままでは、OJTでしっかり教えても、なぜか怖がって自ら手を出したり、新たなことにチャレンジすることができませんでした。やはり明日を担う人財の育成は、系統立てた専門知識及び技能・技術の付与に併せて日常的な現場改善という体験を通じて習得することが重要と判断したのです。今後は、自ら考えて改善でき、工場全体の管理・改善の役割を担ってもらえると大きな期待をしています。

### 3. 人材育成への道（中島ポリエチレン工業（株）中島専務へのインタビュー）

#### (1) 受講のきっかけ

最初は、ポリテクセンターという組織は全く知りませんでした。高度ポリテクセンターは、仕事での車窓から見た「ポリテクセンター」という看板がきっかけで問い合わせしてみたことから始まります。そこで、丁度、日立市で開講するプラスチック成形に関する技術セミナーがあると紹介され、急遽、工場の社員2名を参加させました。1名は入社6カ月程度、もう1名は5年以上の実務経験があります。

日立市でのセミナーを受講した2名は、大変満足して自信を持って帰ってきました。早速、現場改善に取り組み、不良品の軽減につながりました。セミナーの受講を指示した私と工場長は、たった二日間のセミナーでこんなに効果を実感（感動）できるとは思いませんでした。そこで、会社を上げて人材育成を応援し、明日の後継者を担える人材育成を目指そうと決意したのです。

次に、一回の受講で終わりではなく、長期的なスタンスで継続して育成していきたいと思っています。受講した二人は、高度ポリテクセンターの担当講師から「人数が少なくてもご要望があれば、オーダーメイドも検討しますよ」と言われたというので、このまま甘えてオーダーメイドコースの依頼に結び付きました。

## (2) セミナー計画

オーダーメイドの計画は、高度ポリテクセンター企画担当者と講師の方に工場に来てもらって、現場を確認しながら、私と工場長とで人材育成計画を検討しました。以下は、私たちから要望した主な内容です。

- ①長期的に教育訓練を継続して実施したい。
- ②関連会社を含めた社員全体の人材育成の場としたい。
- ③工場内の設備機器を使用して体験しながら課題解決に向けた考え方を指導してもらいたい。
- ④二級技能検定を取得させるなど社員のモチベーションアップにつなげたい。
- ⑤自ら金型の条件出しができ、射出成形に関するトラブル対策ができるようになってもらいたい。
- ⑥工場の生産計画もあることから、月1回程度 土曜日の開催を希望したい。
- ⑦セミナーで習得したことを活用できる課題を受講者に投げてもらいたい。(課題学習方式)
- ⑧講習会中に質疑応答の時間として、30分程度車座になった意見交換ができる場を持ってもらいたい。
- ⑨将来的には、安全作業を第一にした金型の分解・組み立ても指導して欲しい。

## (3) 受講後の感想

最終日には、私も一部参加し、セミナーの効果を確認しました。以下がその時の感想です。

①本当に講師に感謝、現場でこんな指導ができるとは思ってもみなかった。工場内でも研修が受講できることを初めて知り、このような寄り添った指導をしてもらい感激である。できる限り継続したい。

②講師の方の説明は、聞きやすく、わかりやすいと評判である。テキストもわかりやすい。現場の問題点をやみくもに把握しようとしていたことが、理屈の上で把握できたので、対応策のアイデアも思いつくようになった。

③社外研修に派遣する講習会もあるが、現場で聞く内容は、臨場感、距離感が近く、社員が真剣に受講できる環境にできたと強く認識した。また、日程が土日、会場が工場という環境ならば、連続して社員を受講させることができる。受講した内容が仕事につながっている。

④日頃から社員が個々に抱えている課題解決や悩みごとの解消にも役立った。

⑤別工場のアセンブリ担当者も参加し、完成品までの全体工程が理解でき、現場改善に役立っている。別々の工場間の橋渡しもできた。

## (4) 今後の計画

課題となっていた細かなバリ、ヒケ、ポイドなどは、おおよそ改善できました。さらに改善に向けて様々な試行錯誤に取り組みたいので、年度内にもう1回(既に実施済み)、そして、翌年度も引き続いて人材育成を継続していきたいと熱望しています。今回のセミナーを受講して、「正に経営は、“人財”を痛感しました。